

園行事参加型 + 体験活動参加型(保育園)

学校名等	御嵩町立上之郷保育園
実施日時	令和7年11月18日(火)
会場	上之郷保育園 遊戯室
参加人数	保護者 15名
学習課題(分野)	干し芋づくり(命の大切さ・家族の大切さ)
運営者の願い	少しでも多くの保護者が参加しやすい学級を実施するため、これまでは、園の中で実施していた干し芋づくりに、保護者も参加させていただくことにします。子ども達が苗を植え、育てたさつまいもを使った干し芋づくりを親子で楽しみたいと思います。(家庭教育学級長さんより) 昨今、偏食・食事マナー・朝食欠食など、子ども達の食の課題が取り上げられています。まずは、食べること自体を楽しみ、それが食への興味となり、食を考えるきっかけになることを期待しています。さらに親子で取り組むことによって食を通してコミュニケーションをとり、家庭での食育につながっていくようにという願いを込めて、事業を行っています。(栄養士さんより)

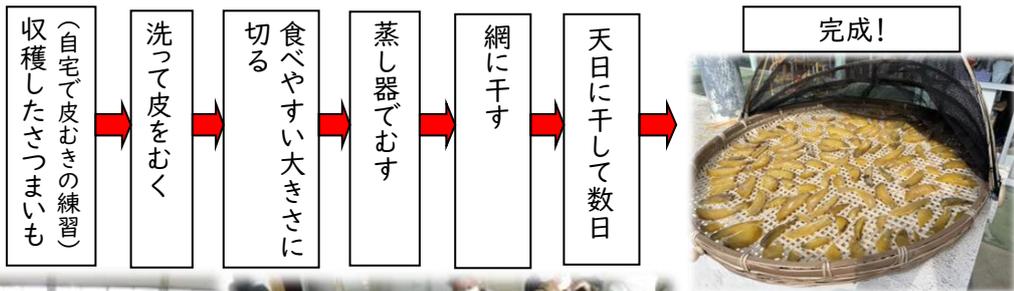
学習の内容

<取組の概要>

園児たちが園庭で育てたさつまいもで干し芋を作る活動を、行政(生涯学習課・福祉こども課『管理栄養士』)・園・保護者が連携して実施します。今回は、収穫後の芋を洗い、切って、干す部分を親子で行います。待ち時間にフライドポテトの提供もあり、親子でお芋の味を楽しみます。

<取組の内容>

午前10時~11時半(1時間半)までの活動です。



洗ったり、ピーラーで皮をむいたりという仕事は、主に年長児を中心に作業が進みました。火を使ったり、切ったりする活動は、お父さん・お母さんが担当しました。
数日後、子ども達は、おいしい干し芋をほおばりました。

<アンケートより>

- ・干し芋づくりという貴重な体験をさせてもらい、大人も子どもと一緒に楽しめました。
- ・普段、一緒に料理をする時間が、なかなかないので、一緒に作業をすることで、日頃見られない子どもの姿を見ることができたり、成長を感じられたりして、とてもいい時間でした。
- ・ママさん、パパさんとお話できて、子どもの姿も見ることができてうれしかったです。家でも作ってみようと思いました。
- ・園児たちも参加し、親と一緒に作業ができるということがとても良い時間でした。他の保護者の方とも交流できて、とても良い体験でした。
- ・初めての体験でしたが、楽しく参加できました。子ども達との交流もあり、皆、楽しそうでした。完成するのが楽しみです。体験型行事、とってもよかったです。
- ・頑張る子どもの姿や嬉しそうな顔を見ることができてよかったです。



いただきま〜す!



家庭教育学級を盛り上げたいという行政・園の理解・保護者の願い、三者の連携がうまく図られ、参加者が増えた実践例です。
関係者同士がつながり、講座の持ち方を工夫する等、参考にしたいものです。



本事例は、園で育てたさつまいもを使って親子で干し芋を作るというものです。家庭で子どもと料理をすることは、忙しい日々の中でハードルが高いものですが、本事例で楽しい経験をしたことが家庭での取り組みの一步につながることを期待します。



干し芋は、すぐには食べられません。当日の作業を終えて、数日干して、待って、そこでようやく食べられるようになります。
干し芋になるまでの様子を観察していくこと、自分の口にするものに関わることは、食べ物を大切にしたり、食の課題を自分で克服したりすることにつながります。